

公共事業等施行状況調（令和2年11月末）

県分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (11月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		2年度 C	C/A	元年度 D	D/B	
		2年度	元年度	2年度 A	元年度 B					
1	治山・治水	26,588	24,936	17,926	15,045	12,986	72.4	12,490	83.0	
2	農林・水産	34,354	29,926	26,704	22,050	20,758	77.7	16,169	73.3	
3	道 路	56,264	53,794	35,263	31,666	29,690	84.2	24,712	78.0	
4	港湾・空港	6,929	5,576	3,712	2,690	2,282	61.5	2,319	86.2	
5	下水道・公園	8,551	6,143	2,314	3,560	1,792	77.4	3,114	87.5	
6	住 宅	2,090	1,736	1,680	1,133	1,359	80.9	750	66.2	
7	庁 舎	1,270	744	1,151	603	523	45.4	506	83.9	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	13,992	8,344	11,456	7,127	3,435	30.0	2,257	31.7	
11	工業用水・上水道等	1,042	1,242	89	148	80	89.9	112	75.7	
12	災害復旧	190	129	182	15	112	61.5	15	100.0	
13	その他	10,710	7,951	7,428	4,625	4,104	55.3	2,576	55.7	
	計	161,980	140,521	107,905	88,663	77,122	71.5	65,021	73.3	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和2年11月末）

（単位：社、件、百万円、％）

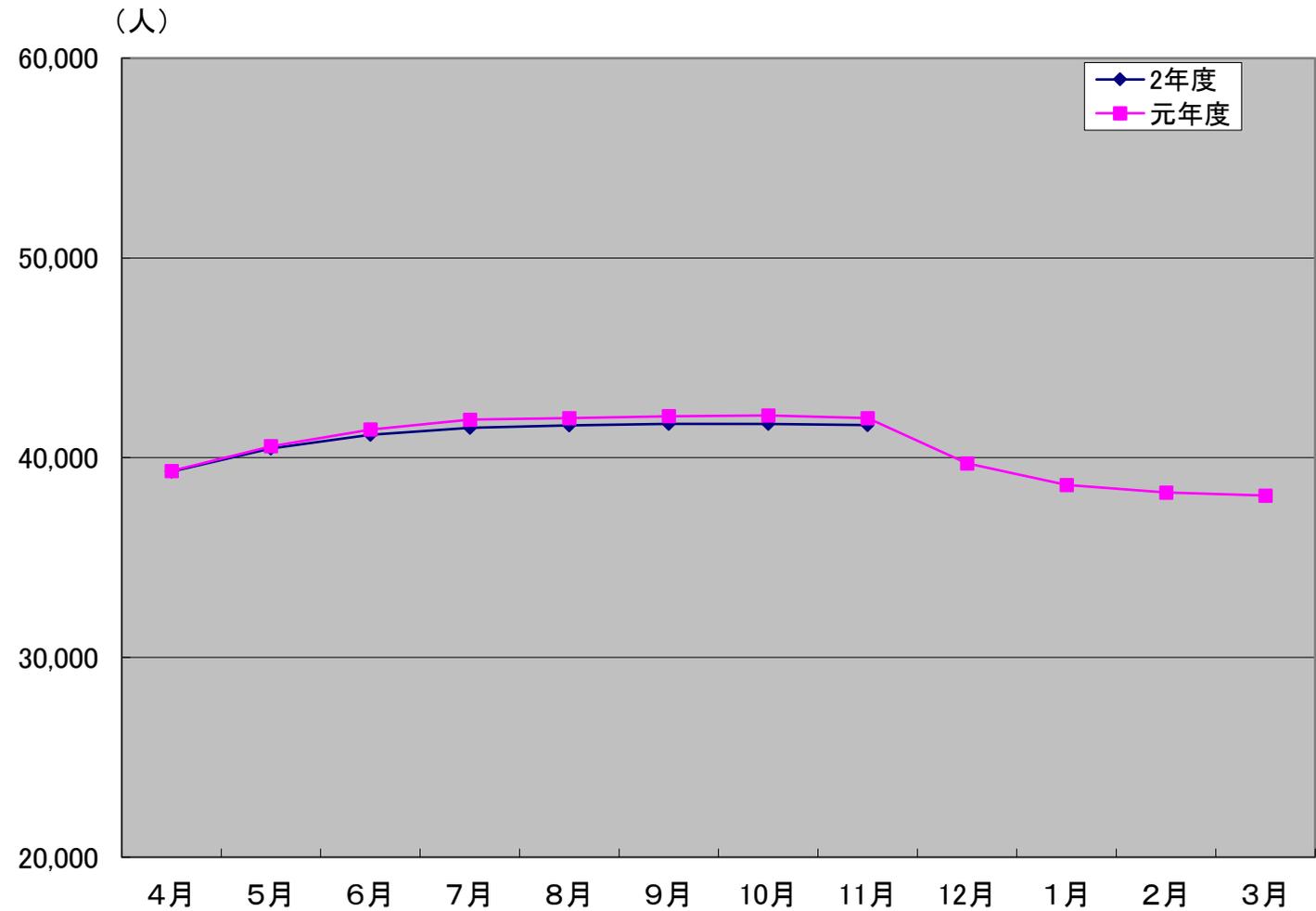
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
2年度	161,980	107,905	24,691	2,357	77,122	24,081	2,254	68,164	511	80	3,799	99	23	5,159
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					71.5	97.5	95.6	88.4	2.1	3.4	4.9	0.4	1.0	6.7
前年度比	115.3	121.7	103.4	104.4	118.6	103.6	104.6	115.1	90.6	93.0	139.1	152.3	143.8	167.5
元年度	140,521	88,663	23,877	2,257	65,021	23,248	2,155	59,209	564	86	2,732	65	16	3,080
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					73.3	97.4	95.5	91.1	2.4	3.8	4.2	0.3	0.7	4.7

被保険者数

	2 年 度	元 年 度
4月	39,303	39,329
5月	40,467	40,575
6月	41,148	41,411
7月	41,492	41,898
8月	41,611	41,985
9月	41,687	42,080
10月	41,689	42,115
11月	41,636	41,978
12月		39,712
1月		38,636
2月		38,252
3月		38,104

前月末被保険者数	41,689
資格取得者数	454
資格喪失者数	506
転入者数	2
転出者数	3
今月末被保険者数	41,636

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)11月末



建設資材の需給・価格動向調査 (2年12月)

	需給動向									価格動向									備考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落									
セメント	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の10月の販売量は4万トン(セメント協会調べ)で前年同月比2.3%の減少。普通ポルトランド(バラ)でトン当たり13,400円と前月比変わらず。メーカー各社は、値上げ積み残し分の浸透を目指し、需要家と交渉を継続。しかし、主たる需要家の生コンメーカーは、需要低迷や運搬コスト増などが負担になっているとして、値上げに難色を示している。交渉に進展は見られず、先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品	○			○			○			○			○			○			○			○			商いは閑散しており、需要は盛り上がりや欠く展開が続いている。年度末にかけても需要増は期待薄との見方が強い。需要低迷により需要家の購入姿勢は厳しさを増しているが、メーカー各社は、輸送コスト上昇などを理由に、値下げ要求には応じない姿勢。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
生コンクリート	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の11月の出荷量は6万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比6.2%の増加。出荷量が伸びずに採算の悪化を懸念する一部メーカーは、原材料の値上がり、運搬コストの上伸を理由に値上げを打ち出している。需要家の購買姿勢が厳しい中、売り腰を強めるには至らず、現行価格の維持が精いっぱい。先行き横ばいで推移する公算が大きい。
砕石	○			○			○			○			○			○			○			○			青森県内の生コン・コンクリート製品需要が低水準で推移しており、荷動きは精彩を欠いている。一部のメーカーは、需要減少下での生産設備更新費用の確保や人件費上昇を理由とする値上げの交渉が続いている。しかし、主たる需要家である生コンメーカーは、生コン出荷量が減少しているなかでの値上げには難色を示しており、交渉は難航している。先行き、横ばいの公算大。
小棒	○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり68,000円と前月比1,000円の上伸。11月中旬以降の鉄スクラップ価格の再上昇を背景に、メーカー各社は採算改善に向けて販売価格をさらに引き上げている。流通筋も強い売り腰で販売価格の見直しに動いたことで、値上げ額の一部が浸透した。需要家はさらなる値上げには難色を示しているが、鉄スクラップが高値圏で推移するなか、メーカー、流通筋とも値上げ未達分の早期浸透を目指し、強い売り腰を保っている。目先、強含みの公算が大きい。
アスファルト	○			○			○			○			○			○			○			○			11月の県内出荷量は9万9千トン(合材協会調べ)で前年同期比6.7%の増加。復興道路関連向けは比較的好調であったものの、一般物件の需要は冷え込んでおり、物件等の先行きも不透明である。こうしたなか、需要家の値下げ要求は強いものの、メーカー各社は、出荷量減少による固定費率の上昇に加え、ストアス価格上昇による採算悪化を理由に、現行価格の維持に努めている。今後、ストアス供給量減少に伴う調達コスト増も予想されるが、製品の値上げは難しそう。先行き、横ばいの公算大。
木材	○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。10月の県内新設住宅着工戸数は512戸で前年同月比4.7%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比11.3%の増加、それに次ぐ貸家は同18.8%の減少などとなっている。感染症拡大に伴う経済活動の停滞が続く状況下、全国の新設住宅着工戸数が16カ月連続で減少するなど、建築用木材の需要は低調に推移している。こうしたなか、景気低迷を見越した上半期の原木切り出し抑制の影響で、ここに来て丸太材の不足が顕在化、原木価格が上昇に転じている。流通業者は需要動向を注視しながら、コスト上昇を販売価格に反映すべきか様子見の姿勢。目先、横ばい推移の見込み。
油類	○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はマイクロリー渡しでリットル当たり90円、重油はローリー渡しで51円と共に前月比2円の上伸。新型コロナウイルスに対するワクチン開発の進展により、世界的な経済活動の回復期待が高まるなか、原油相場が上昇。これを受け元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。足元の原油相場は、値上がりが重なりながらも堅調に推移し、高止まりの様相を呈している。流通各社は、需要が高まる年末に向け売り腰を強めており、目先、強含みの見込み。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,250円と前月比変わらず。原木不足・労働者不足・工場稼働低下等を背景とする現地生産量の減少が続いており、市場における需給がタイト化している。現地価格も上昇傾向で、輸入商社は値上げの動きを強めている。需要が低調に推移するなか、流通筋では手持ちの安値仕入れ品の在庫が減少してきたため、新規の引き合いに対する値上げ実施の機会を慎重に見極めている。流通量の多い関東エリアなどでは上伸が顕在化しており、目先、強含みで推移する見込み。
形鋼	○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり78,000円と前月比変わらず。原料高による生産コストの上昇により、メーカー各社の売り腰強化が見えている。そのため、流通各社は販売価格への転嫁を進めている。一方、鉄骨需要の低迷が長期化し、需要家間の受注競争は激しさを増している。建築物を中心とした工事受注単価が下落するなか、需要家の材料に対する購入姿勢は依然として厳しく、高唱えは浸透していない。需要回復の兆しが見られないなか、危機感を強めるメーカー各社はさらに販売姿勢を強める模様。目先、強含みの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (2年12月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,100	0.0	3,400	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	98,000	1.0	98,000	1.0	98,000	1.0	98,000	1.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	68,000	1.5	68,000	1.5	68,000	1.5	68,000	1.5	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	71,000	0.0	71,000	0.0	71,000	0.0	71,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	90.0	2.3	90.0	2.3	90.0	2.3	90.0	2.3	90,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	51.0	4.1	51.0	4.1	51.0	4.1	51.0	4.1	51,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,250	0.0	1,250	0.0	1,250	0.0	1,250	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	78,000	0.0	78,000	0.0	78,000	0.0	78,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

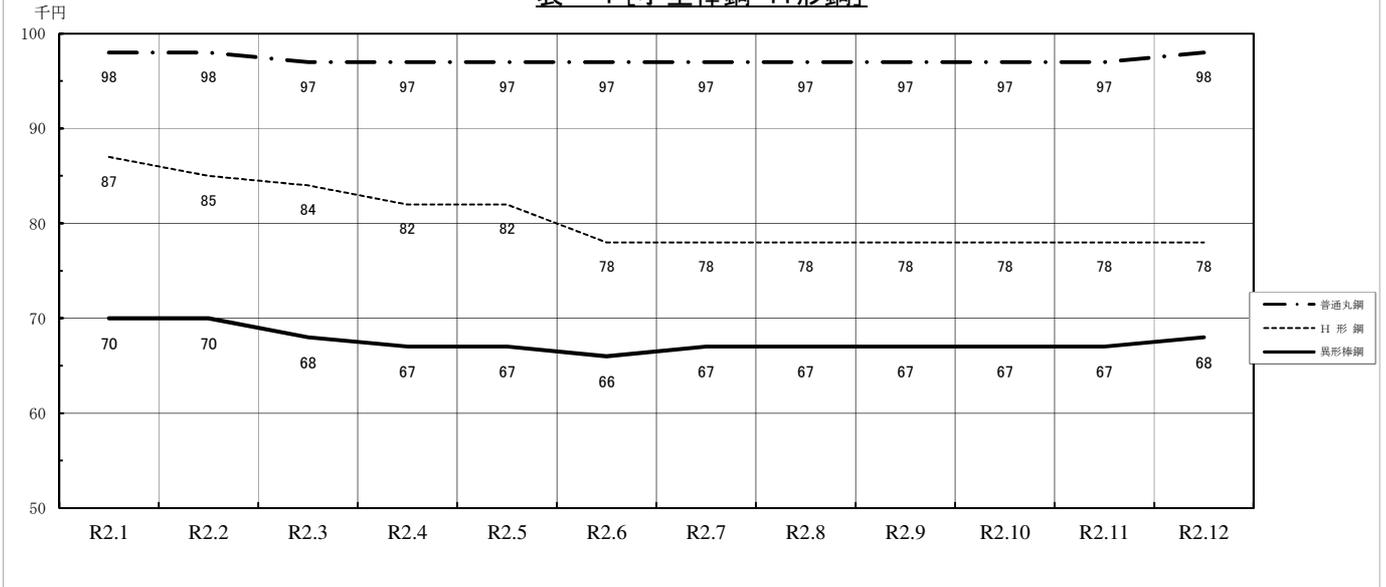


表-2 [セメント・生コン]

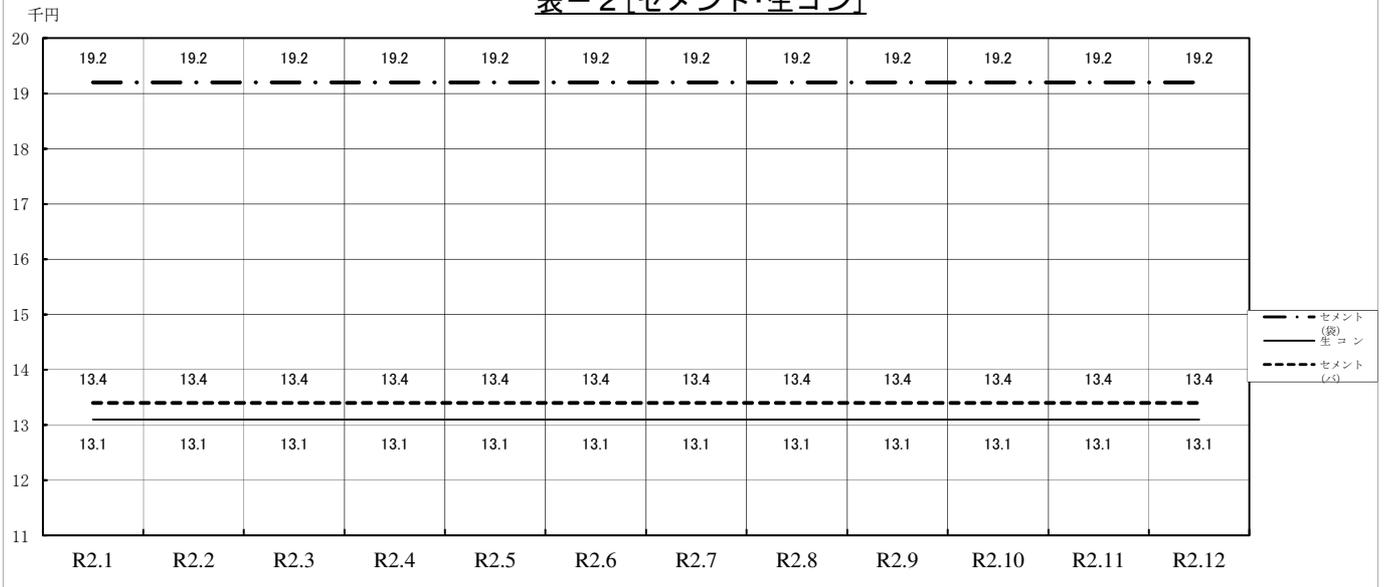
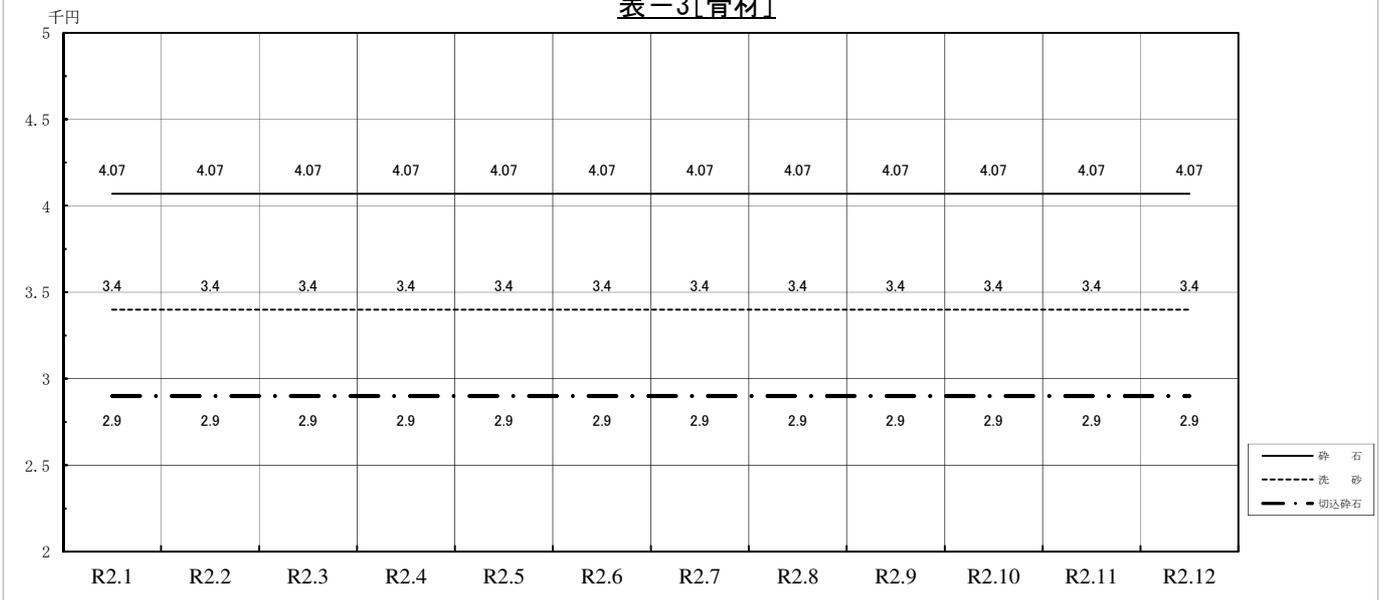


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

